

## 平成23年1月第1回教育委員会定例会

【日 時】平成23年1月21日(金)午後1時30分～午後4時20分

【場 所】北栄町役場大栄庁舎 第1会議室

【出席者】吉田助三郎委員長・河本恒夫委員長職務代理者・齋尾暁美委員・磯江典子委員・岩垣教育長・杉川教育総務課長、田中生涯学習課長・阪本指導主事・桑本指導主事・大庭教育総務課係長

### 【議事日程】

1 会議録署名委員の指名 齋尾委員、磯江委員を指名

2 行政報告

#### 教育長

- ・平成23年度予算編成について、1月11日、13日に予算ヒアリングがあった。
- ・教育ビジョンについて、平成23年度教育方針が教育長再任の課題でもあった。重点施策としてまとめる。
- ・幼保一元化施設に対する取り組みの報告会について、大雪の中、76人の参加であり、保育士の参加も多数であった。また、議会の視察もあった。
- ・人事ヒアリングが1月17日にあった。2回目は2月9日、3回目は2月23日に行われる予定である。  
退職者は、早期退職は、1名、定年退職は、2名。  
小中学校の交流を行っているが、該当者は引き続きやる気があり今後も実施予定。少人数学級の取り組みの基本的な方針は変わらず実施。このことを県へ要望し、県数の確保を行う。小学校1・2年は、国の方針があり協力金は不要となる。
- ・県予算への要望聞き取りが1月20日にあった。  
局の再編は廃止。 存続(教科の強化、連携)  
中部こども支援センター(旧倉吉産業高校): 県・倉吉の補助金は平成23年までで打ち切り廃止。現河北中学校において存続を要望。
- ・1月19日に北条小学校3年男子児童の事故があった。  
いすからこけ、頭を打ち、救急車で病院へ搬送した。一時意識がなく集中治療室で治療していたが、意識が戻った。その後、病院へ見舞いに行った。保護者は自分の子どもが悪いと恐縮していた。
- ・保護者が1月11日に学校、教育委員会事務局で騒いだ。  
原因は子供がいじめられているとのことであった。こどもの水筒がへこんでいたり、ロッカーが乱雑になっていたとのこと調査の依頼があった。事実確認

後、連絡することとしていた。このことで2人の保護者へ電話があった。1人は留守番電話であった。当日の状況は、教室に入り、手を上げかけたため、警察を呼ぶといったらでた。その後事務局に来庁しペットボトルで机をたたいたりするなどの行為があったため、警察へ通報した。対応していた杉川課長、阪本参事は警察の事情聴取を受けた。翌日には、学校で会う約束をしていたが、面会できなかった。その後、杉川課長、阪本参事へ謝罪があった。

#### 教育総務課長

- ・学校等におけるインフルエンザの感染状況について
- ・国のきめ細かな交付金事業について

#### 生涯学習課長

- ・北栄町部落解放文化祭の開催について
- ・平成23年北栄町成人式について
- ・今後の行事予定について

### 3 議事

#### 議案第1号 区域外就学について

(質問)部活動の設置基準はあるのか。

(回答)学校で設けている。人数だけではなく指導者、場所の問題があり、困難な問題である。

(意見)廃止をするにしても議論をする。子どもたちへの思いは強く夢を持っている。子どもの気持ちを大切にする必要もある。今現在少子化であり、競技により子どもの確保などのこともあり、大きな問題となることもある。

原案のとおり承認。

### 4 協議事項

- ・平成22年度地域活性化交付金事業について

(意見)やらなければならない事業、2年でやめてしまう事業、継続して行う事業がある。

(意見)各学校への扇風機設置について疑問がある。扇風機の効果、目的がわからない。暑い教室内で扇風機を回しても意味がない。風が通るようなものでないと効果は出ない。となるとどんなものを設置するか疑問である。業者はそこまで考えない。設置できればそれでいい。風が回ることによって落ち着いて授業が受けられるのか。すごく抵抗がある。設置後のメンテナンスの問題もある。扇風機に変わるものはエアコンだが金額の問題がある。暑いから夏休みがあるのではないか。

(質問)大栄小学校に投光器がついたとき、スポーツはどのようなものを行うのか。

(回答)エアコンも検討したが、金額が膨大となる。扇風機については設計段階

でいろいろと検討したい。鳥取市や倉吉市、中部の町でも設置している学校もある。投光器はサッカー、陸上であり、保護者から町長へ要望があったものである。

(意見) なぜいままでだまっていたのか。必要なら要求すべきである。いってもらうというシステムにすべきである。

(説明) 住民に光を当てる交付金は、議会での議論を経て実施するものである。その中で、サマースクールは教員OBや中学生が小学生を教えることでの意欲を高揚するものとし、小中連携を図って行きたいと考えている。場所については、公設で1か所としているが、地域での実施も検討している。

(質問) 定員とかを考える必要があるのではないか。

(回答) 一斉にこられたら困ることがある。イメージは公の施設であるが、地区公民館での実施の議論もあった。

(意見) 日野が取り組んでいる事例がある。

(意見) 地域での実施は施設や自治会との調整を考えると難しい。教員の数もあり、退職校長会に依頼すればいい。公の施設で実施するのがいいと考える。

(質問) 手を上げてもらったほうがいいが、教員OBではできないか。

(意見) 指導者のめどをつけ、実施について協議してはどうか。サマースクールが今後の起爆剤となればいい。子どもたちの生活改善となればいい。教育向上とはいっているが継続性が必要である。

(回答) きっかけづくり。家庭学習の取り組みにつなげて行きたい。

(意見) 計画訪問のときの資料にもあったが、言語活動の重要性から、音読の大切さ、コミュニケーション、語いを広げ、もって学力向上につなげていく。このことからシンポジウムの取り組みを行うことと整理すればいい。

(意見) 小学校低学年は声大きい。中学校は声小さい。教えるときにいいかげんで終わっている。計画訪問時、もっと教員がしっかり教えることが必要であり、大切なことである。きちんと終わりまでやるよう指導してほしい。

・平成23年度教育委員会関係予算要求の概要について

(質問) 図書館分室のことはないか。利用は増えているか。

(回答) 利用は増えている。予算要求は図書購入を予定している。

(質問) 同推協の補助金はどうなったのか。

(回答) 2月に議会へ報告し、議会の意見を聞くこととしている。

・平成23年度全国学力学習状況調査について

(説明) 前回委員会で協議していただいたが、各学校長と協議し、資料のとおり取り扱いにおいて町として実施する方向での結論を得た。

(質問) 4校で実施するということか。中期5年、長期10年というような取り

組みをしてはどうか。将来的な展望を表したほうがいいのではないか。

(意見) 経費は県が負担する。実施してもらいたい。

(意見) 議会、教育民生常任委員会に報告することとなるが、同じような流れとなるのではないか。

(回答) デメリットとして資料にまとめた。

(意見) 中学生、保護者にデメリットを説明し、理解してもらう必要があるのではないか。

(回答) デメリットと保護者の意見を説明していく必要がある。

(質問) 事務局に意見はなかったのか。

(回答) 1件電話があった。

## 5 報告

- ・教職員の交通事故に伴う処分について
- ・次回定例委員会 2月24日(木) 予定